

家庭学習のすすめ



三郷市立戸ヶ崎小学校

はじめに

この度、戸ヶ崎小学校「家庭学習のすすめ」を作成いたしました。この作成にあたり平成23年9月に、戸ヶ崎小学校の全保護者にアンケートをとり、各家庭で取り組んでいる実際の実践をまとめたものです。保護者の皆様には大変ご多用の中、多くの貴重な実践例をお寄せいただき、心からお礼申し上げます。

さて、なぜ家庭学習が大切なのでしょう。

家庭学習には、復習や予習などがあります。復習は、学校で学んだことが、自分の力になります。復習をしなければ、すぐに忘れてしまいます。予習は、習っていないことを事前に調べたりして、授業が楽しくなります。疑問をもって、次の授業に望むことができます。

このことから、家庭学習を続けることにより、集中して学習ができるようになります。ぜひ、この「家庭学習のすすめ」を十分に活用工夫していただき、一人ひとりの児童に「確かな学力」が身につくことを願っています。

三郷市立戸ヶ崎小学校 校長

我が家の3人の子ども達は、気分左右されます。毎日、夕食前にダイニングテーブルに向かいます。同じことをやっても「嫌だなあ」という時と「やるぞ」という時があります。正反対です。嫌々やる学習は効果が上がりません。ですが、何もしないで子どもがやる気になることはありません。そこで、子どもがやる気になるようにしかけるのです。しかけの一つは同じ問題を一緒にやることです。自分がやるといういろいろなことがわかってきます。簡単そうにみえたのにやってみたら難しい。分かっているのに手が動かない。やりたくない日がある。自分がやってみると子どもにも共感できます。「子どもは子どもでがんばっているんだ」と思うようになりました。

子ども達が「自分で考え、判断し、行動する力」をもって素晴らしい未来をいきっていく為には、様々な経験や学習を重ねることがとても大切なことだと思います。与えられた課題が全てということではなく、家庭でのコミュニケーションを大切にしながら、子ども自身「自ら学ぶ」気持ちをもって将来の「生きていく力」につなげてほしいと考えています。

三郷市立戸ヶ崎小学校 PTA会長

か て い が く し ゅ う し ゅ く だ い じ し ゅ が く し ゅ う て じ ゅ ん
家庭学習(宿題・自主学习)の手順



- ① ^{きょう しゅくだい たし}今日の宿題を確かめます。
 ② ^{かていがくしゅう き}いつ、家庭学習をするかを決めます。

^{かていがくしゅう じかん めやす} 家庭学習の時間の目安		
^{ていがくねん ふん} 低学年...30分	^{ちゅうがくねん ふん} 中学年...45分	^{こうがくねん ふん} 高学年...60分

- ③ ^{がくしゅう はじ まえ ようい}学習を始める前の用意をします。

- ・ ^{おんがく け}テレビ、ゲーム、音楽を消します。
- ・ ^{つくえ うえ}机の上をきれいにします。

- ④ ^{しゅくだい じしゅがくしゅう}宿題・自主学习をします。

^{じしゅがくしゅう れい} 自主学习の例				
^{おんどく} 音読	^{かんじ れんしゅう} 漢字の練習	^{よしゅう} 予習	^{ふくしゅう} 復習	^{ししゃ} 視写
^{けいさん} 計算				
^{れんしゅう} 練習	^{げいさん} 計算カード	^{どくしょ} 読書	^{しら がくしゅう} 調べ学習	^{にっき} 日記
^{いえ か} 家で買った問題集	^{もんだいしゅう}		^{ことば いみしら} 言葉の意味調べ	
^{とがさき} 戸ヶ崎ワークシート	など			

- ⑤ ^{あした じゅんび}明日の準備をします。

- ・ ^{じかんわり}時間割をそろえます。
- ・ ^{えんぴつ あかえんぴつ じょうぎ けしごむ ひつばこ なか かくにん}鉛筆、赤鉛筆、定規、消しゴムなど筆箱の中を確認します。
- ・ ^{れんらくちょう かくにん}くわしいことは連絡帳で確認します。
- ・ ^{ぜんじつ じゅんび}前日のうちに準備をします。



がくりよく たか やくそく
学力を高めるための約束

- 一 はやね はやお あさ
早寝・早起き・朝ごはんをします。
- 一 かていがくしゅう じこく じかん き
家庭学習の時刻や時間を決めます。
- 一 じかん き
テレビやゲームの時間を決めます。
- 一 てきど そとあそ うんどう
適度な外遊びや運動もします。

がくりよく きほん きそく
学力の基盤は、規則

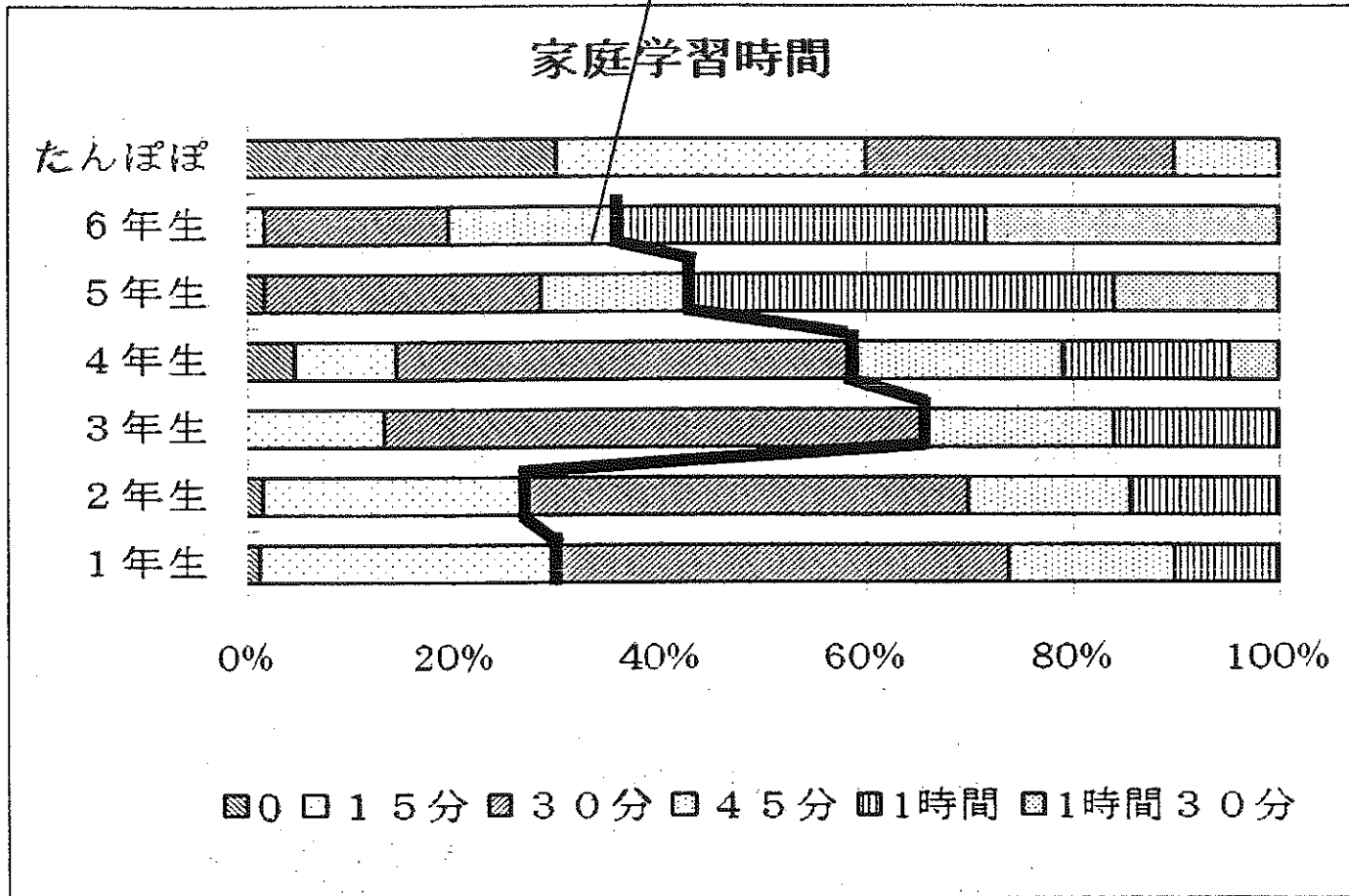
ただ せいかつ
正しい生活から！



かていがくしゅう じかん 家庭学習の時間

がくしゅうじかん
「学習時間のめやす」
とっば
突破ライン

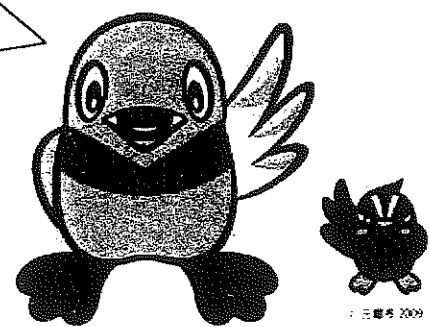
とがさきしょう けっか
戸ヶ崎小のアンケート結果



平均

たんぽぽ…18.0分	6年生……60.0分	5年生……53.6分
4年生……38.6分	3年生……38.0分	2年生……35.6分
1年生……32.4分		

かていがくしゅうじかん へいきん がくしゅうじかん
みんなの家庭学習時間の平均はP2の「学習時間
のめやす」にてらしてみると、低学年はおよそ達成
しているね。でも、ひとりひとりみるとがくしゅうじかん
のめやす」に達していない人も多くいるみたいだね。



家庭学習で学力アップ!

平成22年7月 埼玉県教育委員会

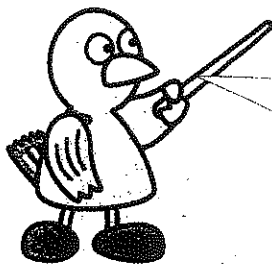
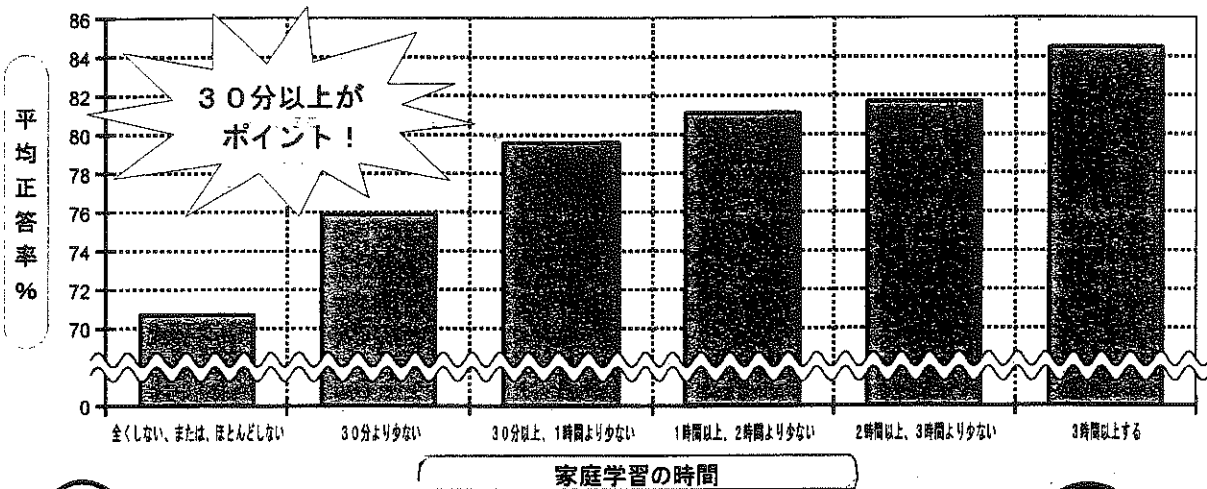
学力の向上には、学校での学習だけでなく、家庭での学習も欠かせません。家庭は子どもの興味・関心に応じて、内容や方法、ペースを自ら考えて学習したり、苦手なことに集中的に取り組んだりすることができる場所であるからです。家庭において学習する時間を決め、自ら進んで学習する習慣を身に付けさせることは大切なことです。

学力アップをめざし、お子さんと一緒に家庭での学習について話し合い、取り組みましょう。

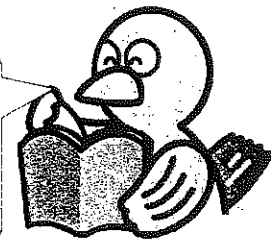
家庭学習や読書の時間と学力の関係

平成21年度 埼玉県小・中学校学習状況調査(小学校第5学年)より

家庭学習時間と4教科(国語、社会、算数、理科)の合計平均正答率との関係のグラフ



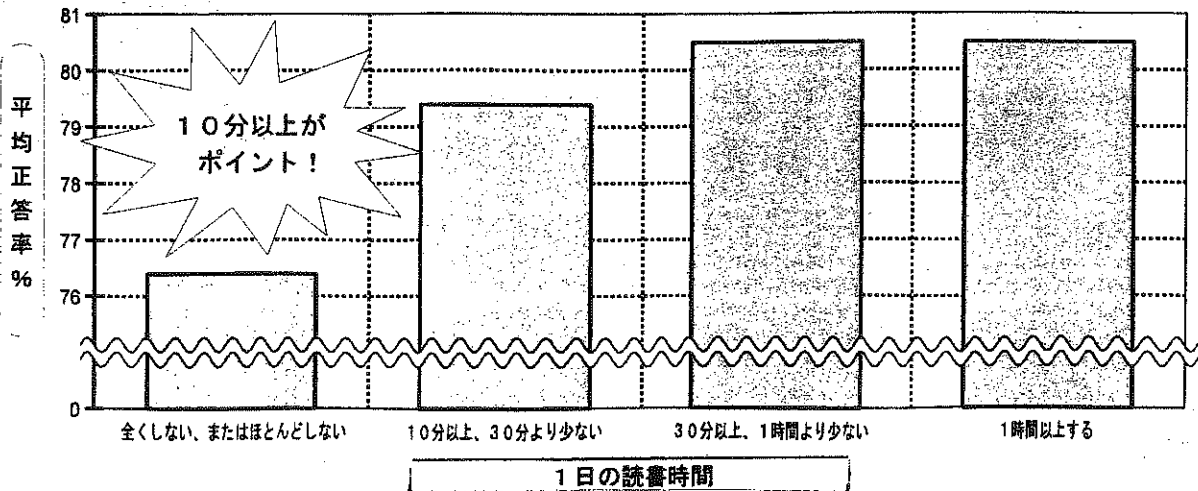
家庭学習する時間が30分以上あるかどうかで、こんなに結果が違います。



読書習慣のある子の方が、平均正答率が高いことがわかります。

埼玉県のマスコット「コバトン」

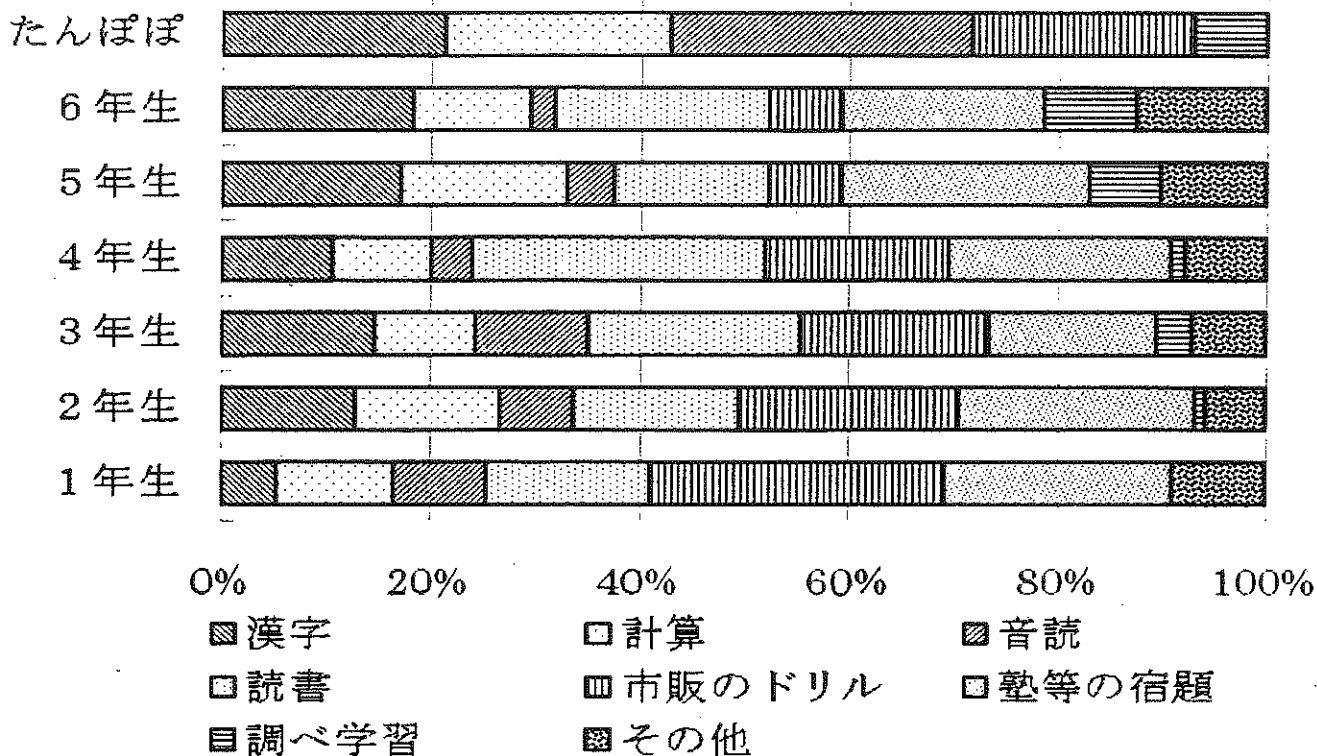
1日の読書時間と4教科(国語、社会、算数、理科)の合計平均正答率との関係のグラフ



宿題以外にはこんな自主学習がおすすめ

戸ヶ崎小のアンケート結果

家庭学習の内容

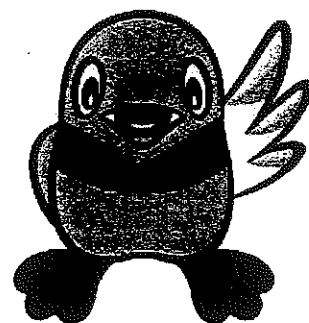


こうがくねん かんじ がんばり ひと おおむすか
高学年になるほど漢字を頑張る人が多いね。難しい

かんじ おお しら がくしゅう こうがくねん
漢字が多くなるからだね。調べ学習も高学年になるほど

おお
多いね。さすがですね。

しはん ていがくねん がんばり ひと おお
市販のドリルは低学年のうちに頑張る人が多いね。



とくい の
得意なものを伸ばす

もよし。にがて こくふく
もよし。苦手を克服す

るもよし。



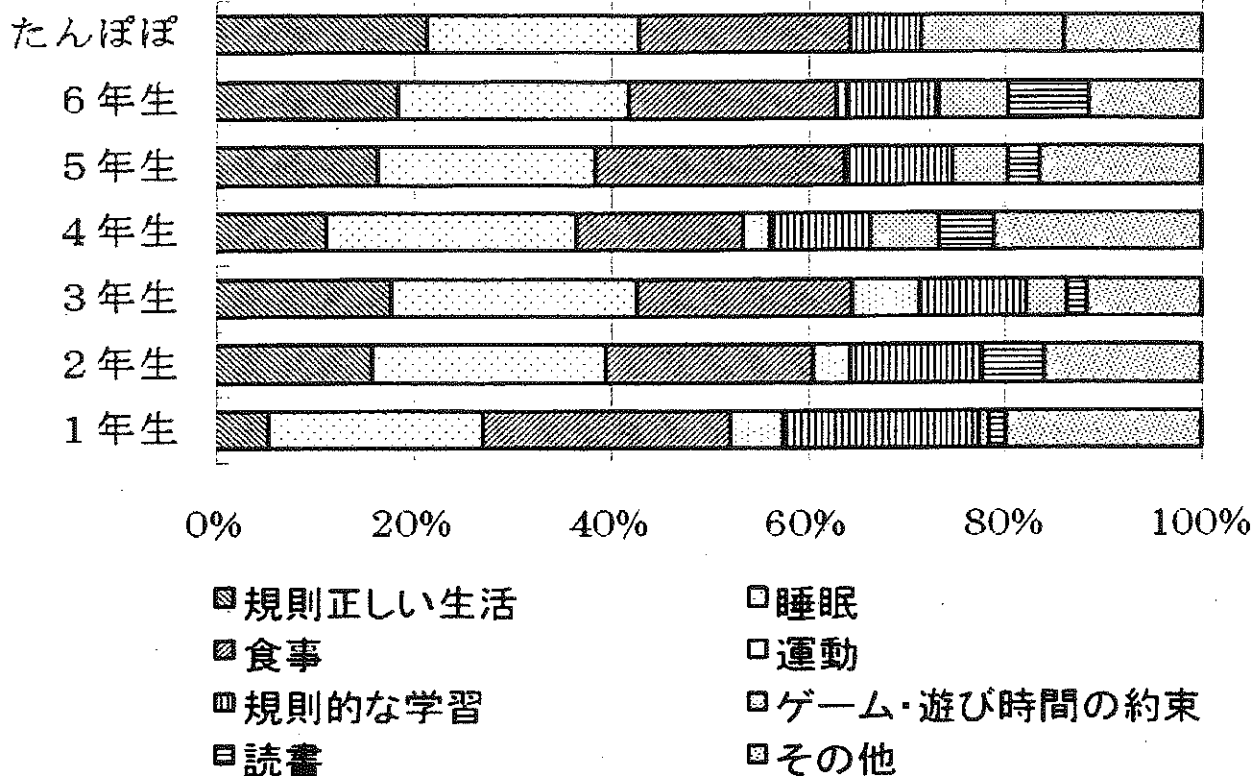
学力の基盤は、規則正しい生活から

とがさきしょう けっか
戸ヶ崎小のアンケート結果

「読書」と「その他」以外は全て「規則正しい生活」に関
わることだね。「早寝・早起き・朝ご飯」という意見がとて
も多かったよ。その他の中には「親子の会話」「集中力」
「整理整頓の力」などが挙げられていたよ。



学力を高める生活習慣



「運動」が少ないようだけど、イリノイ大学の精神生理学者チ
ャールズ・ヒルマンは有酸素運動能力と学業成績の間に相関
関係があることを確認しました。体力テストで好成績を残した
秋田県や福井県は、全国学力学習状況調査でも好成績を残して
います。外遊びも含めて適度な運動も心がけるとよいですね。



かていがくしゅうしゅうかんか

家庭学習習慣化のために



時間がない家庭へのヒント① ～約束事を定着させるべし～

- 帰ってきたらすぐに宿題。その後、お友達と遊ぶようにしています。(1年生)
- 国語が嫌いと言っているが、あまり勉強をしたがらないので、毎日簡単な問題を少しずつやり、できたら“ほめる”を繰り返しています。最近は嫌がらずに勉強しています。(1年生)
- 自分のやりたい時間にやるのではなく、6時に始めて7時までには終わらせる。土・日曜日は休みということでやっています。(1年生)
- 嫌がる日は学校の宿題のみにし、強制はしない。自分でスケジュールをたてさせる。(1年生)
- 毎朝、朝食前に計算ドリル1ページを行うなどして、頭を覚醒させて1日の始まりを迎え、意欲を高めています。日記は毎日各月を1ヶ月決めて、書くことを習慣化させました。1ヶ月たつと書くことが当然になります。(1年生)
- 早起きして、朝ご飯の後に通信教育の課題に取り組んでいます。放課後、たっぷり遊びたいと本人が決めました。(1年生)
- カレンダーに今日の予定を書き込み、子どもが「今日は〇番」と言って取り組み予定を作っています。(2年生)
- 疲れてはかどらないときは、寝かせてから、朝早く起こしてやらせる。(2年生)
- 毎日、今日の出来事を一行書くようにして、文章の練習をしました。(2年生)
- 夏休み中、予定表に書き、計画的に過ごした結果、スムーズに学習ができ、本人のやる気につながった。(3年生)
- 学習時間を教科ごとに分単位で区切る。短い時間で集中して勉強ができる。(3年生)
- 宿題のあとに2～3問くらいの少ない問題を出しています。(4年生)
- ゲームなど好きなことを好きなだけさせるかわりに、学校で習った範囲で分からないことがないという条件を付けたら、両方ほどよくやるようになった。(5年生)
- 曜日ごとにやる教科を決める。なしの日があると嬉しいようです。(5年生)
- 漢字はただ書くだけではなく、丁寧に、きれいに心をかけさせる。しっかりゆっくり書くことで、頭に入り、ノートもきれいとはめていた。(5年生)
- 規則正しい生活は長い休みの間も崩しません。夕方遊んでも夕焼けチャイムには帰らせて必ず夕食前までに宿題を終わらせる習慣を続けています。(5年生)
- 帰宅してからの時間の振り分け表を作り始めました。その通りにはいかないときもあります。でも、本人はこのやり方があるようです。1日だけ友だちと遊ばないで勉強する日を作りました。1時間は必ず集中して勉強する癖を身に付けさせている途中です。(6年生)





時間がない家庭へのヒント② ～日常の中で学習させるべし～

- 採った虫の名前など図鑑や本で探させています。(1年生)
- お買い物に行ったときにおつりなどを計算させています。(1年生)
- 一緒にお風呂に入って、かけ算をくりかえし声に出して読み上げ、子どもにも言わせる。そのとき、お風呂の壁にかけ算の表を貼り、見ながら教える。4歳くらいからやりすぐ覚えてしまった。表は100円ショップで売っています。地図もお風呂に貼って毎日やるようにしたい(1年生)
- 興味をもって話しかけてきたときにクイズにして問題を出すと「もっと出して」と喜んでいる。(3年生)



勉強嫌いな子へのヒント ～楽しく取り組むべし～

- ゲーム機などのお勉強ソフト(1年生)
- 1年生なので気に入っているキャラクターが使われているドリルを買い、1ページごとに終わるとご褒美シールが貼れるので毎日続いています。(1年生)
- やったら色を塗れるようなパズルみたいな用紙とか子どもが達成感を得られるようなものをつくっています。(1年生)
- 6時間授業の日は時間がないので、友だちと一緒に宿題をやるとよい(3年生)
- 日本地図のパズルをやることで都道府県を覚えた(4年生)
- マラソンカードみたいな家庭学習カードを作っています。(4年生)
- 歩いているとき、バス、移動中に看板などの宣伝広告を一緒に読んでいた。(4年生)
- カレンダーを作り、勉強ができた日にシールを貼る。目標を達成したら、好きなおやつを食べられる。(4年生)
- カレンダーに好きなシールを段階をつけて貼ってみました。(5年生)
- 親の目の届くところで学習させる。(5年生)





集中力がない子へのヒント ～環境を整えるべし～

- 自分の部屋をもたせる。テレビのない部屋。勉強しやすい空間をつくってあげる。(1年生)
- リビングでは勉強しない。机や部屋はきれいにし、学習しやすくする。(5年生)
- キッチンのダイニングテーブルのところで勉強しています。(5年生)
- 父親がほとんどパソコンを開いている状態なので、疑問を持つとすぐに調べています。
- 学習時間を作る。その時間帯はTVも消し、家族全員宿題、勉強、読書などを大人も一緒に読書などをやる。(6年生)
- 宿題はテレビを消してやらせています。録画をしておいて後で見せます。早く見たいので宿題も早く終わります。(3年生)



国語が苦手な子へのヒント ～読書をするべし～

- 絵本を読むときに、まる読みで交互に読んだり、台詞を変えてみたり、親子で楽しく読んでいます。(2年生)
- 互いに好きな本を交換したり、読みあったり、楽しくできるようにしています。(3年生)
- 家族で週に1回本を読む。(4年生)
- 定期的に図書室へ行き、皆で本を借りて読書する時間を作っています。(5年生)
- 子どもと図書館へよく行ったり、子どもと同じ本を読んで、内容について話している。ちゃんと読まないといわれるから丁寧に読んでいる。(6年生)



時間の余裕がある家庭へのヒント ～一緒に取り組むべし～

- 一緒に学習してあげる。答えが分かる様にヒントで導いてあげる。答え合わせをしてほめてあげる。(1年生)
- 可能な限り1人で学習させず、一緒に問題を解く、近くにいて本を読むなど、学習時間を共有する。すぐ採点をしてできたてんを褒めて、達成感の経験を積み重ねていく。たまには「ごほうび」も利用する。(1年生)
- 与えるだけの学習ではなく、一緒に字の練習をしたり、親子の時間＝家庭学習になるようにしています。ドリルなどの丸付けの最後にどんなことががんばれているか具体的に手紙のように私が書いています。いつも楽しみにしてくれています。(1年生)
- 親が教えてもわからないと、きつく言って泣いてしまう。兄が教えると楽しんで勉強をしている。兄はなんでわからないか理解できるみたい。(1年生)
- 未就園児の弟がいるので、えんぴつをもたせる時間を一緒にとることで、2人で集中して、兄は宿題や勉強、弟はお絵かきなどをやっています。(1年生)
- 最近はずらやるようになりましたが、最初の頃は声かけをしていました。日にち、時間、ページ数を決め、丸付けをしてあげています。(1年生)
- わからなところをわかるまで一緒にやっています。その時わかってもまたすぐ忘れてしまうので、よく見てあげることが大事なのだと思います。また、ほめてあげることでやる気ももっと出るようです。(2年生)
- 「宿題をやりなさい。」ではなく、「今日の勉強はどうする。」と問いかけ、自ら計画を立てさせるようにする(2年生)
- リビングで親も一緒に勉強をしています。どっちがきれいな字をたくさん書けるか、どっちがバツが少ないか、どっちが多く色々なことを調べられるかなど…。(3年生)
- 頭ごなしに勉強をしなさい、と言っても集中力のない時にやらせたところで何も身にならないと思うので、本人にやる気にさせるような言葉かけたり、できたときはほめてあげたりわからないところはどんどん聞きなさいと声をかけてあげることで無理のない学習ができていると思います。(3年生)
- 都道府県が苦手だったときに親子でどのくらいできるかテストしてみました。(4年生)
- 一緒になって漢字練習をしたら、点数が上がり、自信につながりました。(4年生)
- 子どもが興味を持った事や物は時間の許す限り、そのとき、その場で付き合い、一緒に答えを出し、褒める。(4年生)
- 子どもが学習しているときは口を出さずに側でみまもってあげるとうちの子の場合は、はりきって学習してくれる。(5年生)
- 子ども新聞をとって時事ネタを親子で話す。子どもが勉強をしている間は親も読書や仕事をして静かに過ごす(6年生)